

セラミック製品を購入前にこちらの注意点をご確認ください。



高熱で焼成するセラミックは、焼き物の質感や天然石の色柄を表現しているため、1枚ごとに表情が異なります。下記の内容をご理解の上、ご検討ください。

- 同じ色品番でもカタログやサンプルと実際に納品される商品では個体差があり、色の濃淡や模様などが異なります。
- 柄模様には方向性がありますが、柄位置や柄方向の指定はできません。

チタンブラック(B)

ダーク色の素地の上に載せた透明釉の光沢層が複雑に光を反射し、独特の光沢や質感を表している色柄です。場所により光沢に強弱があるため、光の角度によっては、筋のように見えます。また、照明の種類や角度によっても色の見えかたは異なります。



間接照明



直接照明

アイアングレイ(R)

表面は細かな凹凸があり、自然な手触りです。釉薬を重ねて焼き物独特の光沢や質感を表しているため、光の角度やコントラストによって様々な表情を見せます。色の濃淡、縞模様、白斑点などを不規則に採り入れ、重厚感あふれる表情を黒色、茶色、薄灰色で表現しています。



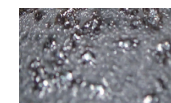
模様の濃い部分



模様の薄い部分



白色化した部分



表面の細かな凹凸と光沢

チタングレイ(T)

トープ色の素地の上に載せた透明釉の光沢層が複雑に光を反射し、独特の光沢や質感を表している色柄です。場所により光沢に強弱があるため、光の角度によっては、筋のように見えます。また、照明の種類や角度によっても色の見えかたは異なります。



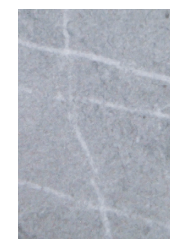
間接照明



直接照明

ザハストーン(A)

表面は滑らかでソフトな手触りです。不規則に描かれた白色の縞模様が特徴で、光の角度やコントラストによって、様々な表情を見せます。



白色の縞模様



模様の濃淡

チタンホワイト(S)

ホワイト色の素地の上に載せた透明釉の光沢層が複雑に光を反射し、独特の光沢や質感を表している色柄です。場所により光沢に強弱があるため、光の角度によっては、筋のように見えます。また、照明の種類や角度によっても色の見えかたは異なります。



間接照明



直接照明

カルカッタ(L)

イタリアの代表的な白大理石、カルカッタの特徴を忠実に再現。白地に薄い灰色の縞模様が帯のように大きく入っていて、幅広い部分から枝分かれした細い筋が繊細な模様を織りなしています。ヒビ割れも意匠として施しています。



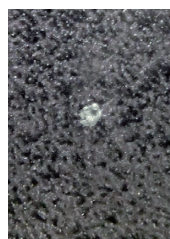
枝分かれした細い筋



大きな柄模様

バサルトブラック(E)

表面は滑らかでソフトな手触りです。火山岩の一種で多くの有色鉱物が含まれる玄武岩の色柄を再現しており、セラミックの素地に白色や黒色の粒子が含まれています。その大きさの違いや色みの違いが味わいとなっており、天然原料を多く使っているので色の濃さやツヤが多少異なります。



緑色の斑晶



白色の斑晶



赤色の斑晶

バサルトブラック色の色柄方向について

W1350・1500に関しては、テーブルの長手方向に対して縦目柄になる可能性が高く、柄方向の指定はできません。

